

◇ 「防ぐ」 施策

治水施設の整備状況

● 地下河川と下水道増補幹線整備の現状と今後の整備目標

【寝屋川北部地下河川関連】



【寝屋川南部地下河川関連】



◇現状
○L=3.7km 完成(全長 14.3 km)
○貯留量 28 万m³
(地下河川 13 万m³、増補幹線 15 万m³)
○浸水被害軽減面積 1800ha
大阪市・守口市・寝屋川市・門真市

◇現状
○L=11.2km 完成(全長 13.4km)
○貯留量 96 万m³
(地下河川 63 万m³、増補幹線 33 万m³)
○浸水被害軽減面積 6100ha
大阪市・八尾市・東大阪市・柏原市

◇今後の整備目標
○浸水軽減区域の拡大
・平成 27 年出水期 1100ha
大東市・門真市・寝屋川市
・平成 29 年度 1000ha
門真市・大東市・大阪市・守口市
・平成 32 年度 1600ha
守口市・門真市
○北部地下河川下流の延伸
・大深度地下使用の調査検討

◇今後の整備目標
○浸水軽減区域の拡大
・平成 25 年度着手 1200ha
東大阪市(中央北増補幹線)
○南部地下河川下流の延伸
・街路事業との共同により用地



地下河川貯留状況

治水施設の効果

- 平成 25 年 8 月 25 日豪雨
- ◇時間最大雨量 59 ミリ(大阪市城東区)
- ◇浸水戸数 419 戸
床上 15 戸、床下 404 戸
- ◇治水施設の貯留量 580,700m³
地下河川 322,700m³
流域調節池 258,000m³

◇ 「凌ぐ」 施策

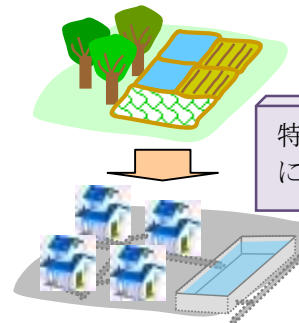
雨水貯留施設の整備

● 学校グラウンド等における雨水貯留施設（府・市による整備）



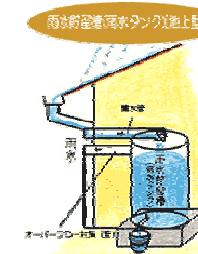
下水道管へ流れ出す前に雨水を一時貯留
↓
下水道管からあふれだす雨水を抑制

● 開発に伴う流出抑制（民間による整備）



特定都市河川浸水被害対策法
による義務化

● 各戸における雨水貯留タンクの設置（住民による設置）



助成金制度を創設している
市あり

◇ 「逃げる」 施策

住民の自主避難を促す取り組み（府市連携）

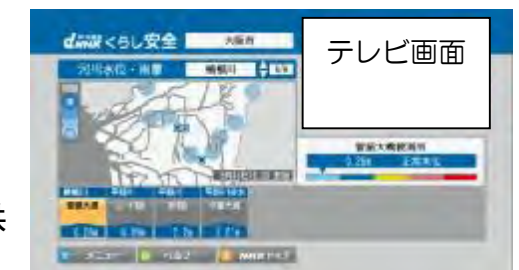
● 洪水リスク表示図の公表と周知



いろいろな機会を通じて洪水リスク
表示図の周知を図る

● 防災情報の提供

- ◇おおさか防災ネット・・・緊急情報や避難情報などを提供
- ◇河川防災情報・・・雨量や河川の水位情報を提供
- ◇気象庁ホームページ・・・レーダーによる降雨情報を提供
- ◇NHKデジタル放送・・・雨量や河川の水位情報を提供



治水対策を超える豪雨に対する備えが必要 ⇒ 「逃げる」施策の強化
“下水道ポンプの運転調整”

◇ 「逃げる」施策の強化

○ 水防法の改正

- ① 河川管理者から市町村長に洪水予報等の情報を直接伝達
⇒ 避難勧告、避難指示の判断の迅速化
- ② 地下街、高齢者施設、大規模工場などにおける避難確保、浸水防止を義務化
⇒ 避難確保計画・浸水防止計画の作成、訓練の実施、自主防災組織の設置

○ 避難体制の強化(府・市連携による内水ハザードマップの作成)

<h4>内水浸水被害のシミュレーション</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道や水路などの排水能力を超えることで発生する浸水被害をシミュレーションにより想定 ・市へシミュレーション結果を情報提供 	<h4>避難勧告等の判断・伝達マニュアルの修正</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・内水浸水時の対応について、マニュアル作成ガイドラインを市へ通知 ・市は府の通知に基づいて、マニュアルに内水浸水時の避難判断基準を定める(避難情報等発令のタイミング、住民に求める行動など)
--	--

内水ハザードマップの作成

【内水ハザードマップ記載内容】

- ・浸水発生メカニズム
- ・浸水の状況(範囲や水深など)
- ・避難情報の住民への伝達手法
- ・避難の方法(2階への避難が主)
- ・地下街の情報
- ・浸水に対する事前の心構えなど

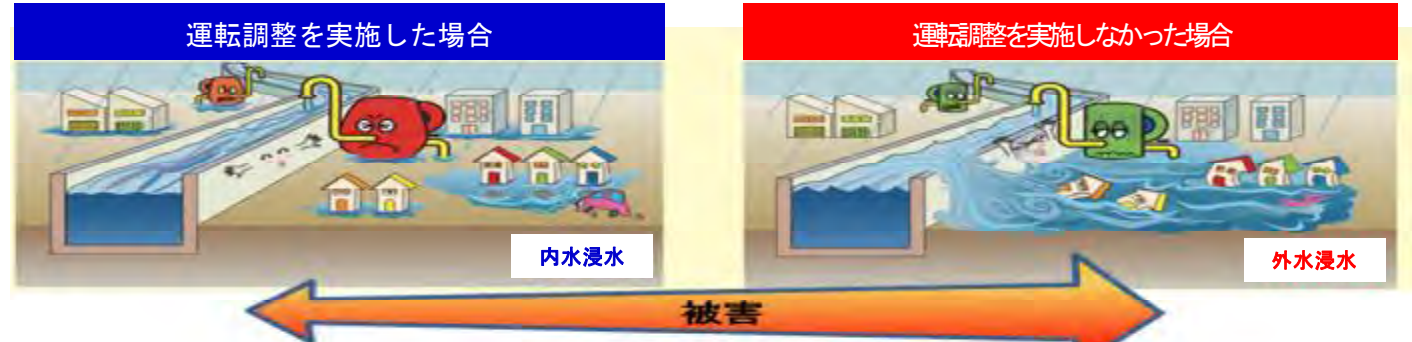
内水ハザードマップ(参考イメージ)

地域防災力の向上を図るための住民支援を強化

◇ 下水道ポンプの運転調整

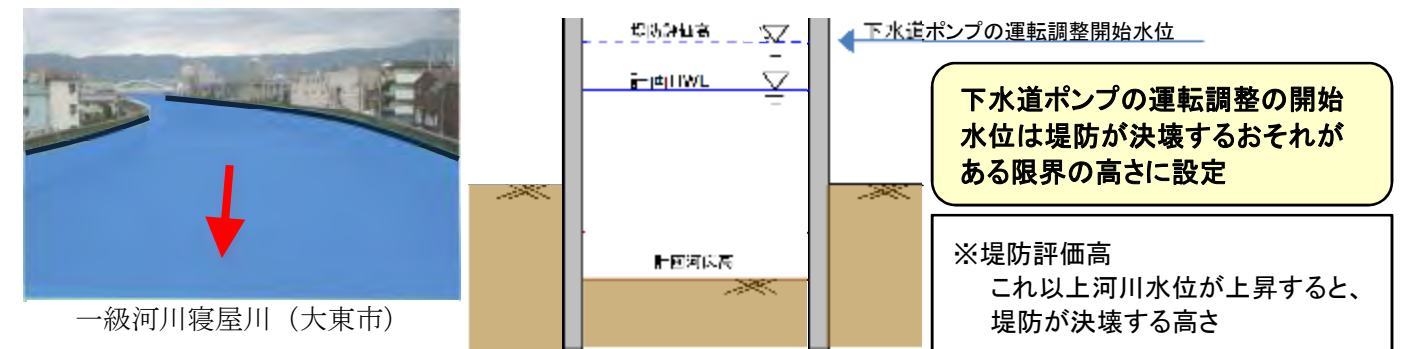
低くて平らな土地が広がる寝屋川流域では、河川堤防の高さは最大で4mに及び、万一、堤防が決壊して洪水が溢れると、家屋の流出や人命の危険性が大きくなるなど、壊滅的な被害となる恐れがあり、下水道ポンプの運転調整は、河川堤防の決壊のおそれがあるときに、水位の上昇を抑え、安全性を確保する緊急的な措置です。

○ 効果

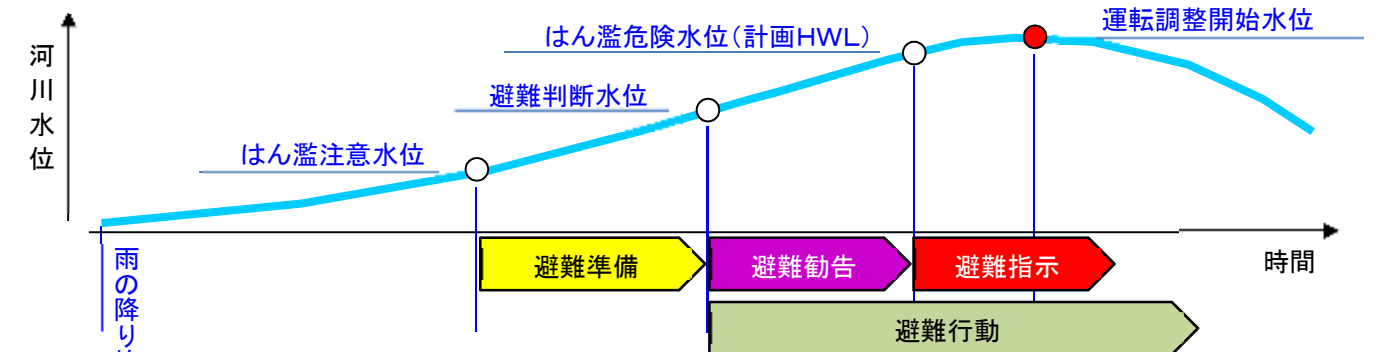


<h4>内水浸水被害の形態</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・地形的に低いところで浸水発生 ・浸水箇所は広範囲に点在 ・浸水深は小 ⇒ 被害小 ・氾濫流の流速が小 ⇒ 人命への危険小 	<h4>外水浸水被害の形態</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・破堤地点の近傍で浸水発生 ・被害は局所的 ・浸水深は大 ⇒ 被害大 ・氾濫流の流速が大 ⇒ 人命への危険大
---	--

○ 下水道ポンプの運転調整を開始するときの河川の状況(例)



○ 住民避難のタイミング



下水道ポンプの運転調整が開始されるまでに住民避難は完了